

Cover Eyewear

メイマ (P41)
フォーナインズ (P104)
L.G.R. (P124)
ベンジャミンアイウェア (P125)

Cover Design

Hidetaka Koyanagi (RAIDENSHA)

Cover Photo

Machiko Odan

Design

Hidetaka Koyanagi (RAIDENSHA)

9

巻頭トピックス
LOVE glasses

特集

17

普段着の めがね

18

「ふだん」 文・いしいしんじ

21

普段着のめがねって？

22

クリエイターの普段着めがね Part1

26

眼鏡カタログ① 掛け心地が良い

32

デザイナーロングインタビュー／
『スペックエスパス』山岸誉さん・毛利勝博さん・齋藤健志さん

34

眼鏡カタログ② ディテール・デザインに凝った眼鏡

42

デザイナーロングインタビュー／
『アン・バレンタイン』アンヌ・バレンタインさん

44

眼鏡ショップスタッフに聞きました「これが私の普段着めがね」

46

眼鏡カタログ③ ブランドの世界観に魅かれる

49

デザイナーロングインタビュー／
『GLCO』ギャレット・レイトさん

50

眼鏡スタイリスト 藤裕美さんによる リアルな普段着から想像するアイウェア

54

クリエイターの普段着めがね Part2

60

新作アイウェアニュース

JUST WEAR IT!

86

複数の眼鏡店へのアンケート実施

いま注目のレンズとは――

104

日本にもっと サングラスを

127

問い合わせリスト

プロクシュが 生まれ変わって登場

今季、しばらくぶりとなるコレクションを発表したウォルフガング・プロクシュ。この日を待ち望んでいた取扱い店の方々からのコメント、そして昨年ドイツ・ブフォルツハイムのオフィスにて行なわれたインタビューとともに新作を紹介しよう。

Photo／青木健格 Aoki Takenori (WPP)
Text／伊藤美玲 Ito Mirei

とてもハイファッションの香りがするコレクションでした。彼の世界観はしっかり健在で、現在主流のトラッドとは違う、60年代のドイツ眼鏡の遺産を感じました。

デコラ神戸
漆畑博紀さん

とてもプロクシュらしくなり、戻ってきてくれて嬉しいです！ ミラノでお披露目の際は、ご本人も自信があったようで、非常に明るい顔をしていたのが印象的でした。

グローブ スペックス
岡田哲哉さん

10年ほど前、小ぶりのセルが主流のなか大ぶりのメタルを立て続けに発表した彼に憧れたものでした。そして2011年。10年経ってもモードなプロクシュは健在でした。

イズモオブティーク
兵頭優樹さん

上から順に
「WP-1101」 価格 3 万6750円
「WP-1105」 価格 3 万5700円
「WP-1104」 価格 3 万6750円
「WP-1106」 価格 3 万9900円
「WP-1109」 価格 3 万9900円
©サラディストリビューション東京

久しぶりに新作を見て、改めて新鮮さを覚えました。僕がプロクシュに惹かれる理由でもある、彼が得意とするドッシリと重心の低いフォルムは、今も健在でした。

プリंक青山本店
荒岡俊行さん

万人に受けるわけでも、誰もが掛けられるわけでもない！ そんなデザインがプロクシュにはある。このセンスに同調した人は、良さが解るのではないのでしょうか。

ハバナミュージアム
平手千博さん

2010年9月。我々は、シルモが終わり次のコレクションへと着手し始めたプロクシュ氏のオフィスを訪ねた。穏やかな物腰の氏だが、眼鏡のことに話が及ぶと、その表情は真剣そのものだ。

「眼鏡を作るうえでは、掛け心地が良く高品質であることはもちろん、革新的なディテールを用いること、そしてそれらが結果的にデザインとして洗練されているかどうかを重要視しています」

日々あらゆることからデザインのインスピレーションを受けるというが、「なかでも自動車のラインは意識しますね。次のコレクションは、自動車のボディのようなシャープなラインを、プラスチックで表現しようと思っています」と語ったその半年後に届けられたコレクションはご覧のとおり。丸みのあるラインとエッジを絶妙に織り混ぜた、レトロフューチャリスティックなフレームが揃った。

取材の最後には、「今は90年代を思わせる、線の細いメタルが気分だね」とも。少々気は早いですが、次のコレクションにも期待は高まるばかりだ。



メタルのテンプルで
掛け心地良く
EFFECTOR
エフェクター

同ブランドで人気を誇るサーモント
フレーム「delay II」のテンプルをチ
タンにしたモデル。よりしなやかな
掛け心地となり、知的な印象もアッ
プしている。「delay II metalarm」価
格 2万9400円 ④オプティカルテー
ラー クレイドル青山店



洗練された上質な
クラシカルデザイン
YELLOW'S PLUS
イエロースプラス

角を落としたフォルムとジャスト
に掛けられるサイズ感で、定番の
サーモントを洗練された面持ちに。
丁寧に磨かれたテンプルは肌当た
りも良い。「FRITZ C1W」価格 3万
1500円 ④G.A.YELLOW'S



色彩と造形が織りなす
3Dエフェクト
MONOQOOL
モノクール

フロント、テンプルともに薄さ0.6mmの
βチタン製。異なるシェイプ&カラー
のテンプル2本を並行に重ねることで、
色彩と造形というダブルの立体感を生
んでいる。「Twins BJ.55.81.70」価格4万
3155円 ④モノクール ジャパン



独自の機能性を纏った
大ぶりフレーム
JAPONISM
ジャボニズム

ギャザープレスによって曲智に成型した
深いネイビーのウェリントン。βチタン
の板バネを仕込むことで、旬のスタイル
にジャボニズムらしい掛け心地と機能性
を融合させている。「JN-519 Col.05」価格
2万9400円 ④グロス青山

やっぱり、掛け心地



眼鏡のために作られた
最先端素材を使用
Line Art CHARMANT
ラインアート シャルマン

しなやかなバネ性をもつ「エクセレン
スチタン」をテンプルに使用。優しく
頭を包み込む柔らかなフィーリングと
ホールド感を兼ね備えた、この上ない掛
け心地を提供してくれる。「XL1021/
BB」価格 3万9900円 ④シャルマン

流麗なラインを描く
ブローフレーム
DressCode
ドレスコード

最新の3D製法技術によって立体的
なブローラインを成型。弾力性に優
れたZチタニウム製の丁番がヨロイ
部分に内蔵されており、フィット感
は良好だ。「DC22245/BZ」価格 4万
6200円 ④シャルマン



軽量なチタンを使った
サーモント風フレーム
DressCode
ドレスコード

フロントは3mm厚のチタンシートを
採用し、電着塗装を施してブロー
風に。重厚感のあるルックスとは
裏腹に、掛け心地は驚くほど軽い。
「DC22248/BL」価格 4万2000円
④シャルマン



樹脂製テンプルが
柔らかな掛け心地を生む
Kazuo Kawasaki
カズオカワサキ

板状のチタンを打ち抜いたフロン
トに、軽量でしなやかな樹脂テン
プルの組み合わせ。透明感のある
ポップなカラーリングで見た目も
軽やかだ。「MP-750 23」価格 2万
5200円 ④MASUNAGA1905

ディテールが醸し出す空気感

目尻のカットが
表情を引き立てる

Frost
フロスト

クールになりがちなシートメタルを、鮮やかなグリーンでポップに色づけ。フロントの両端にはカットが施され、目元を華やかに見せてくれる。「BRILLIANT」価格4万1900円 ㊤フロスト・ジャパン



鮮やかなブルーの
リムが効いてます
HAUSMARKE
ハウスマーケ

スポーティー＆ミニマルな雰囲気が融合したハウスマーケの新作。内側とリムを鮮やかなブルーで彩ることで、プロウフレームにポップな印象をプラス。「mod.vol.5_10 Col.dgr-blu」価格2万9400円 ㊤グローブスベックス エージェント



個性的な柄が映える
シンプルなデザイン

Micedraw Tokyo
マイスドロートーキョー

目尻がキュッと上がったシェイプが凛とした面持ちのプラスチックフレーム。シンプルなフォルムなので主張の強い柄生地でも顔に馴染み、ほど良く個性を添えてくれる。「JD716 Col.645」価格1万9950円 ㊤マイスドロートーキョー



どこかモダンな
レトロスタイル

ayame
アヤメ

上／昔ながらの手法であるセル巻きによってメタルフレームの存在感を一変。温かみを感じる1本に仕上がっている。「no.1001 C-2s」価格2万8350円、下／つり上がりを抑えることで、顔馴染みを向上し優しい表情にしたフォックス型。男性でも嫌味なく掛けることが可能だ。「no.1005 c-11」。価格2万8350円 ㊤アヤメ



サイドの色づかいで
個性を主張

J.F. REY
ジェイ エフレイ

上／ゴーグルのようなヨロイとボリュームのあるテンプルが横顔を彩るカラフルな1本。「JF2407-9542」価格4万4100円、下／ネジを用いず、カチカチと段階的にクローズする独自のヒンジ構造を採用した軽快なモデル。「JF2376-1030」価格4万2000円 ㊤ジェイ・エフ・レイ プティック トーキョー

細部で変化をつけた
ウェリントン

EFFECTOR
エフェクター

上／キーホールブリッジの部分に厚みをもたせ目元の印象を強調した硬派なデザイン。「AW」価格2万3100円、下／天地を浅めの小振りなフォルムで無骨さを抑えたウェリントン。「fuzz-s」価格2万3100円 問オプティカルテラー クレイドル青山店



レンズやブリッジ、テンプルエンドの**形**、生地のラミネートによって生まれる**表情**や**カラーリング**といったデザインに魅せられる。

細やかな彫金やプレス、ヒンジなど高度な技術が垣間見える**技巧**に唸る。

そして、見ただけでそのブランドとわかるラインや、理屈ぬきに「好き」と思える佇まいに何だか嬉しくなる。そんなディテールで眼鏡を選ぶのもいい。

Photo (model)／大段まちこ Odan Machiko、(still)／青木健格 Aoki Takenori (WPP)
Styling／田中美和子 Tanaka Miwako
Hair&Make-up／河村慎也 Kawamura Shinya (モッズヘア)
Model／Kanoco
Text／伊藤美玲 Ito Mirei



ひとクセあるフォルム&
ハットとする色使い

theo
デオ

数学の記号がテーマになっている今作。柄生地を使ったツートンフレームのヨロイを、「絶対値」を表す記号でアクセント付けている。「Septante+trois 5」価格4万7900円、リムのシェイプや太さが左右非対称になったフォックスフレーム。鮮やかなピンクのカラーリングもテオらしい。「Eye-witness SG 291」価格6万5100円 ㊤デオ・ジャパン



クリアカラーが映える
ラウンドフレーム

BEAUSOREIL
ボースレイユ

トレンドのラウンド型も、クリアカラーなら新鮮に。フロントのサイドからテンプルに掛けて鮮やかな色を使いながらもどこか品が良いのには、同ブランドらしい洗練されたシェイプがあってこそ。「800 Col.502」価格3万8850円 ㊤トゥーランドット



styling
眼鏡スタイリスト 藤裕美

**リアルな普段着から
想像するアイウェア**

今回は、年代も職業も違ふ4人の大人の普段着を
読んでも自分も拝見、そのファッションから想像
されるライフスタイルや眼鏡の好みまでを、藤
裕美さんが自身のマージネーション&眼鏡
スタイリングを元に、架空のストーリーとして紡いだ。

Profile

文化服装学院卒業後、某インテリア雑貨ショップに販売員として入社。ファッションはエッジィなデザイナーズブランド、スタッズやフリルといったディテールを愛する個性派。月々の洋服代を惜しみたくないで杉並区の実家に家族と暮らす。週末は美術館を巡ったり、アート関連のイベントに出掛けるのが好き。

ポイントは、他人とは確実に「違う」けれど、浮いているわけではないということ。自分のキャラクターや美意識に沿う。カタチ、というものを、彼女は本能的に知っているのだらう。

普段から愛用しているレットロな黒縁フレームは、直球のウエリントンではなく大きめのボストン。フロント、テンプル共に細めにシェイプされたそのデザインが、巷に溢れる「アラレちゃんメガネ」とはひと味違う柔らかさ、顔との一体感を醸し出すことを、彼女は直感的に解っている。仕事で青山にあるインテリアシヨップに立つときは、店のモダンな空気感を意識したシャープな赤いメタルフレームもお気に入り。蝶の羽根を想わせる透かしのディテールが小悪魔なフォックス型を描くこのフレームは、デザインの華やかさに対し、シートのメタルの無機質な素材感というバランスが日常使いの眼鏡として絶妙なのだ。

フリルをたっぷりあしらった
ヘッドドレスや、パターンにこ
だわったジャケット。服飾学校
でデザインや縫製技術を学び、
アーティスティックなファッショ
ンを好む彼女は、日常のメガ
ネもまるで彫刻やオブジェを味
わうかのような感覚で選び、し

フリルをたっぷりあしらった
ツッドドレスや、ボタンにこ
たわつたジャケット。服飾学校
デザインや縫製技術を学び、
īティスティックなファッションを好む彼女は、日常のメガ
ンにもまるで彫刻やオブジェを味
わつかのような感覚で選び、し
も自然に掛けこなししている。
普段から愛用しているレットロ

Profile

30代半ば、横浜市で妻と暮らすDINKS。某デパートのメンズファッション部門にてバイイングを手掛ける。英国トラディショナルから古き良きアメリカン・カジュアルまでファッションの知識は幅広いが、ドレス系ファッションを扱う仕事柄、基本はオーダーメイドのスーツやジャケットを日常着として愛用している。

えて選んでみる変化球。
モノにまつわる幅広い情報と知識をもとに編集された、彼の眼鏡選び。結果的にそのスタイルは、いつも上品で普通っぽくはあるのだけれど、容易に真似のできない緻密な計算に基づくオリジナリティがある。

貴かれています。

例えば、落ち着いた印象のスクエアフレイムという鉄則は押さえつつ、素材はバツファローホーンで魅せるというテクニツク。あるいはこの『天才』のように、良い意味で毒のある個性的なブランドをチョイスしておきながら、そのなかでもごくシンブルな黒のメタルフレイムをあ

作業の賜物だ。セオリーに則ったオーダーメイドのスーツを土台に、その時々好みや気分をシャツやタイの色柄でカラーージュするような独特の感覚。それは、愛用するメガネにも等しく買かれている。

デパートのバイヤー。彼は、一般的な視点からすでに定義されている、上質なモノ、と世の中の隅々までを見渡し、探して探して当てる。最先端のモノ、と、ファッションにまつわるあらゆる情報を日々キャッチし、顧客の趣向に合わせて編集しているプロフェッショナルともいえる。そんな現場で働くこの彼の日々の装いも、自らの趣向に合わせた編集

S-660T series

新解釈によるベーシックラインのメタルフレーム。逆Rパーツを使わずとも緻密な設計によりこちよい掛け味を実現する。3型・各7色。価格2万6250円

掛け心地の要!!

モダンの形状

繊細な調整も可能にするシンプルなモダン形状。その形状もモデルごとに変えられていて、フレーム設計と相まって頭部への接地面積を最大限確保できるようになっている。S-660Tシリーズは、フォーナインズ初期のモダンをイメージさせる形状。

力の分散

掛け心地の要!!

緻密なテンプル設計

テンプルの上下、内と外に厚みのギャップを付け、さらに上下と側面で厚みと幅を対比させて体積バランスに配慮。負荷を解消し、掛け心地を向上させる。着想自体は99年からあるが、当時のフレーム以上に逆反りや歪みがでにくい。技術の進歩と経験の蓄積が成せる技だ。

その掛け心地で 絶大な人気を博した 1999年発売のS-50T

包み込むような掛け心地を体感できるモデルとして一世を風靡したS-50T。逆Rヒンジ誕生前の当時から、掛け心地の良さを追求したフレーム設計は支持されてきた。

もの創りの原点へ フォーナインズが追求する 掛け心地とは??

市場ではプラスチックフレームの流行が囁かれているが、流行よりテーマ性を優先すべくメタルベースのフレームに絞り込んだ今季コレクション。

それらを方向付けるテーマの「こち-every comfort-」の意味とは!

Photo／青木健格 Aoki Takenori(WPP) Text／飯島秀明 Iijima Hideaki

3シリーズ8型51アイテムからなる今季コレクション。それらを束ねているのが「こち-every comfort-」のテーマだ。ブランド発足当初より、掛け心地の良さに、プライオリティを置きながらもの創りに取り組んできたフォーナインズにとって、原点ともいえるテーマである。

もちろん、過去の焼き直しなどではない。むしろ、事態は大きな進歩のなかにある。たとえば、掛け心地を追求する過程で開発された各種の機構。なかでもブランドのアイコンとも呼べるのが「逆Rパーツ」だが、その

NPM-20 series

プラスチックフロントの智に対しメタルテンプルの合口を側面から被せるように繋げて流麗なラインを表現。同時に逆Rテンプルと共に不要な負荷を軽減する設計になっている。3型・各6色。価格3万7800円

S-120T series

シートメタルの可能性を広げるダブルフロント構造。立体的な表情が魅力だ。ホールド感のある掛け心地が実感できる逆Rパーツと一体型のテンプルも秀逸。2型・各6色。価格3万9900円

掛け心地の要!!

ダブルフロント構造

フロントの安定度を高めながら、奥行きのある表情を演出する、ダブルフロント構造。このフォーナインズ独自の機構も、新たなスタイルに。フェイスフロントをシートメタルのプロウで表現。インナーフロントにはフルリムを組み合わせている。

逆Rテンプルを開発

お馴染みの逆Rヒンジではなくテンプルに逆Rパーツを一体化したまったく新しいテンプルだ。頭部を抱き抱えるようなカーブを描き、安定したホールド感が体感できる。もちろん、逆Rパーツが掛け外し時に生じる負荷も確実に解消してくれる。

掛け心地の要!!

MODE OPTIQUE

NEWS PAPER

Just Wear It

Photo／青木健格 Aoki Takenori(WPP)、熊谷義久 Kumagai Yoshihisa(WPP)

Text／実川実 Jitsukawa Minoru、小堀真子 Kobori Mako、飯島秀明 Iijima Hideaki、モード・オプティック編集部 Mode Optique Magazine

マーキスターのサングラスで世界一周旅行!?



カラフルなアセテート素材を使用。その配色が各国の国旗をイメージさせる。左上から下に、「Bahamas」、「Germany」、「Saudi Arabia」、「Sri Lanka」、「Cameroon」、「Saint Vincent」、「Uzbekistan」、「United States」、「Netherlands」、「Georgia」、「Central African republic」。

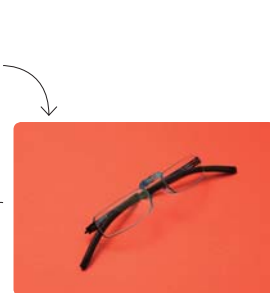
この薄さ! ストラダ デル ソルの サングラス

尻ポケットに収納可能なこちらのモデル。弾力性のあるステンレスシートを活かしたフレーム構造になっており、簡単に内側に折りたたむことができる。カラーコンビネーションなども絶妙で、ファッションセンス抜群だ。オープン価格 ④サラディストリビューション 東京

注目の眼鏡ブランドUSH(アッシュ)を率いるデザイナーの外山雄一氏。彼がプロデュースするサングラスのブランドがこの『マーキスター』である。今季掲げるテーマはワールドツアー! 世界を旅するアイウェアをイメージに各国の国旗から着想を得たアセテート生地のコレクションを発表している。

ちなみに、モデル名は該当する国名をそのまま命名。と、イメージはワールドワイドだが造りは純国産品にこだわる。素材、パーツとも福井県鯖江市で製造されたものだけを使用。ちなみに、フレームのデザインはすべてウェリントンで統一している。価格各1万290円 ④アトリエサンク

携帯に便利! IC! ベルリンの折りたたみメガネ



世の中に折りたためる眼鏡がないわけではないが、これほど気持ちよくコンパクトにたためるフレームも珍しい。『アイシー! ベルリン』の新作モデルである。専用の小型ケースに収納しておけば、上着の内ポケットやバッグの隅に気軽に放り込んでおける。リーディンググラスを買ったはいいいが、普段眼鏡を掛け慣れていないせいか、つい持ち歩くのを忘れてしまう……そんな声をよく聞くが、このモデルならそうした心配も無用だ「nanoshell」価格5万85円 ④アイシー! ベルリン・ジャパン



クリアカラーのフロントにヴィンテージのプラスチック生地を採用している。まるでアーカイブから掘り出したようなエイジングの跡が微かに認められる。

複数の眼鏡店へのアンケート実施!!

いま注目のレンズとは――。

青色光カットや疲れ目対策、そして傷や汚れからレンズを守るコーティング技術など……。レンズメーカーは続々と新テクノロジーを開発し進化し続けている。本特集では、複数の眼鏡店へのアンケートにより、いま注目のレンズをピックアップして紹介。レンズは軽視できない大切な存在だ。豊富な知識をもつ眼鏡店に心ゆくまで相談し、目的や用途に応じて必要とされるスペックを知り、納得のいくレンズ選びを!

Text／今絵うるは Imae Uruha(BOA AGENCY) Illustration／畠瀬廉 Hatase Ren

「“特定のメーカーを選ぶ”
のではなく、どこのメーカーの
“どのようなレンズを使うか”が重要」

デコラ 漆畑博紀さん

「日本のレンズメーカーや企業が関わっている
レンズブランドのクオリティは素晴らしい。
少しでもレンズに傷がつかないように、
少しでも歪みを少なくしようという姿勢と
企業努力が感じられる。
また、セイコーの楽ケアコートはオススメ。
レンズのメンテナンスがし易いように感じる」

コンティニューエ 神島良平さん

「日本製にこだわる伊藤光学。
届いたレンズを当店で検品する際に、
海外製の安価なレンズの場合5%以上の確率で
気泡や傷などが入っているものがあるが、
伊藤光学の製品にはまったくといっていいほどない。
また、東海光学は製作範囲外の特注などが得意」

れんず屋 古屋和義さん

「コダックレンズはカーブ対応レンズの
スペシャリスト!」

オブジェイスト 八木数正さん

「最近、日本でも本格的にスタートした
カールツァイスヴィジョンは、
ハイグレードという意味で素晴らしい」
インスパイラル成城眼鏡店 春山英樹さん

「エスエイビジョンは、
レンズバリエーションの豊富さが魅力。
度数やカラーなど
ちょっと無理をお願いしても
頑張って応えてくれる」

パワースペックス ポストン 藤井重博さん

「タレックスは、偏光レンズ専門メーカーならではの
カラーバリエーション豊富なラインアップが揃っており、
ライフスタイル・機能別にご提案できる。
また、東海光学は通常製作していない度数のレンズ製作など、
柔軟な対応が可能。遮光眼鏡、偏光、調光、カーブレンズなど、
機能を求めるお客様への対応範囲が広い」

某ショップ スタッフ

「コダックレンズはカーブ系に強く、
とくに8カーブレンズは重宝している。
カーブ対応の偏光や調光レンズの
ラインアップも魅力」

ボンメガネ 川岸剛気さん

「エスエイビジョンの加工技術と
各要望への対応は素晴らしい。
特殊な設計による商品の加工もこなしてくれ、
コーティングの種類やカラー染色でも
細かな指定に柔軟に対応してくれる」

某ショップ スタッフ

「レブラのレンズは、オリジナリティが高い。
パソコン作業などには勿論、
室内照明でもまぶしさを感じるような眼の敏感な方、
疲れ目やドライアイの方にもオススメ!」

クレイドル青山店 坂巻貴之さん

「コダックレンズのPPコートと
PHPコートは
1年保証がついている。
コーティングに
保証がつくのは珍しい」

金生堂 清水信幸さん

「最近海外で台頭し始めている
新しいレンズの動向に関心をもっている。
オートフォーカスやフリーフォームテクノロジーの
製作方法などなど。レンズ単体で特徴をもっているのではなく、
発注システムや検眼機器とも連動して作っていくような
新しいレンズが今後台頭してきそうだ。
既成概念を越えるレンズに注目です」

グローブスペックス 岡田哲哉さん

「タレックスは、
国内の偏光レンズメーカーとして
定評がある」

某ショップ スタッフ

「東海光学は、お客様の細やかな
ニーズに対応してくれる」

イワキメガネ スタッフ

「ニコンは独自の設計をもっていて、
国内のレンズメーカーのなかで
新製品の展開などが早い」

某ショップ スタッフ

「トランジションズは注目。
日本ではまだこれからのメーカーだが、
なかでもフォトクロミックレンズは凄く便利。
もっと多くの方が掛けても良いと思う」

ブリック青山本店 荒岡俊行さん

「セイコーとホやは
発注から商品の入荷まで
スピーディーに
対応してくれる」

リユネット・ジュラ横須賀店 高橋一郎さん

奥ゆかしい性格ゆえなのが、それとも、濃いブラウン色の虹彩をもつからなのか、とにかくサングラスを掛けることに二の足を踏む、あるいは無頓着な日本人が、まだまだ多い気がする。しかし、考えてみてほしい。サングラスほど気軽に、劇的に、その人のイメージに変化を与えてくれるアイテムがほかにあるだろうか。そしてもし、「自分のスタイル」としてサングラスを掛けこなすことができたならば、そのイメージは、圧倒的にポジティブかつクールなものとして、周囲の人たちの記憶に長くとどまるに違いない。例えばオードリー・ヘプバーンやノエル・ギャラガー、ハンター・S・トンブソンのように(あとレディ・ガガも・笑)。

しかもサングラスを掛ける意味は、ファッション性だけではなくとどまらない。そもそもサングラスは、紫外線から眼を守る、医療機器的側面をもつ存在なのである。ここで(とくに女性)も一度考えてみてほしい。紫外線から肌を守るのに、生きていくという点では比べものにならないほど重要なはずの「眼」を、どうしてむき出しのままであ

日本に、もっとサングラスを。

Photo／四宮義博 Shinomiya Yoshihiro Text／小谷知也 Cotani Tomonari

「フォーナインズ・フィールサン」
「F-03NPI」 価格4万7250円
©フォーナインズ



PARASITE
"SYNDROIDE" Col.10P
価格4万4100円

一見スポーツと無縁のサイバーデザイン? だが眼を凝らすとレンズの歪みを防止するハーフフローティング構造や、標準装備の偏光レンズ、こめかみを支えるダブルアームなど、実はスポーツのために生まれた機能モデルなのだ。

©イトオブティク



NIKE VISION
"SHOW-X1AF" EV0645 Col.106
価格2万5200円

レンズの曇りやズレ落ちを軽減するベンチレーションノーズパッドを採用。さらに、路面の反射光を軽減し眼への負担を和らげるレンズは、天候や用途によって交換できるスベアも付属。夏場のランニングを快適にするモデル。

©マーシオン ジャパン



OAKLEY
"PIT BULL" 009161-02
価格1万7850円

闘士を鼓舞する無骨なデザインに独自開発の超軽量素材 "O Matter" を使用。汗を吸収することでグリップ力を増す "Unobtainium" 製ノーズパッド&イヤースックを装備し、アジアフィットの掛け心地良さも重要な機能だ。

©オークリージャパン



OAKLEY
"RADAR" 09-706J
価格3万6750円

あらゆる環境に対応するレンズ交換機能を搭載し、日本人の顔に馴染むアジアフィットに加え、跳えたような装用感を生む2タイプのノーズピースが付属。空気循環を促し熱を逃がすサージポートで快適な掛け心地を約束する。

©オークリージャパン



PARASITE
"ANDROIDE" Col.15P
価格4万2000円

同ブランドの象徴、ダブルアームでもモノアームでもなく、テンプル下から奇妙に伸びるモダン……。進化の過程ともいえるデザインに度肝を抜かせつつ実はフィット感向上のための機能、という真面目と遊びが融合した傑作。

©イトオブティク



NIKE VISION
"VICTORY AF" EV-0596 Col.102
価格3万4500円

プロゴルファーの協力を得て、10年以上にわたる研究で開発したマグネシウムフロントを採用したモデル。素早く調整できるノーズパッド&ラバーテンプルと、簡単に着脱できるレンズ交換機能はコース上で重宝する。

©マーシオン ジャパン



OAKLEY
"JAWBONE" 04-209J
価格2万8350円

ノーズピースを上げロックを解除するとリム下部が、下顎のように開き、素早くレンズ交換ができる機構が白眉。雨や汚れに強い "Hydrophobic" コーティングは、スポーツ時にその威力を発揮。交換レンズ付のモデル。

©オークリージャパン



OAKLEY
"COMMIT" 03-782
価格2万7300円

軽量素材を採用したフレームに、歪みを最小限に抑えて裸眼に近い高解像度の視界を実現するHDOレンズを装備したレディスモデル。偏光レンズが強烈な眩しさをカット。

©オークリージャパン



EYEMETRICS
"ALG6" ALG6 Col.MAT RED-Q2B
完成品価格(レンズ含む)価格7万8750円~

日本人の顔に馴染む6カーブシェイプ。アルミニウム、ダイキャストによって優美な三次元曲線を描くフォルム、種類豊富なレンズシェイプやパーツカラーを組み合わせられるカスタム感、何より軽くてずれない安心感が嬉しい。

©イキメカネ



RUDY PROJECT
"PERCEPTION GOLF" SN860106
価格3万1900円

25%の可視光線透過率に設定され、コース上での目標物とその背景を鮮明に認識できるゴルフ専用の特殊カラーレンズを搭載。刻々と変化する天候に合わせて片手でフリップアップサングラスレンズを操作でき、集中力を妨げない。

©ルディ プロジェクト ジャパン



zerorh+
"STYLUS SEE SAFE" RH63412
価格2万9925円

レンズには強靱でありながらショックを吸収するソフトなレンズに偏光・調光機能を備えたNXT素材を、フレームには弾力性が高く軽量なグリラミドチタニウムを採用し、すべての面でハイスベックを実現した最新鋭モデル。

©ゼロインダストリー



zerorh+
"PLAZMA A.F." RH66004
価格2万7900円

2007年開催のアメリカズカップのチャンピオンチーム "Alinghi" 艇のレガッタ用に使用された実績をもつモデルで亜鉛、アルミ、銅、マグネシウムによる合金を駆使したテンブルサイドのロゴがデザインのアクセントに。

©ゼロインダストリー

各種スポーツに
適したサングラスを
見つけよう!

最新スポーツ サングラス事情

太平洋高気圧の到来まで秒読み段階となった。
屋外で体を動かすのが大好きなアスリートの皆さま、
アウトドア好きな皆さま、目の紫外線対策は万全ですか?
もしまだなら最新モデル満載で、種目別アイコンも添えた
このスポーツサングラス特集は必読ですぞ!

Photo/青木健格 Aoki Takenori(WPP)
Text/実川実 Jitsukawa Minoru



RUDY PROJECT
"EXCEPTION" SN962250
価格2万9900~4万5400円

カーブレンズの特性から使用を断念してきた強度の眼鏡使用者にフリップアップ機能で門を開いた先駆者。宇宙航空学で多用されるキネティウム製フレームや360度調整可能なテンプルなど、最高水準の機能が凝縮されている。

©ルディ プロジェクト ジャパン



zerorh+
"STYLUS SEE SAFE JUNIOR" RH61809
価格1万8900円

割れることの決してないソフトなNXT調光レンズ、微調整の簡単な可動式ノーズパッドなど、大人と同じ機能を搭載したキッズ用モデル。プロフェッショナルを目指す志の高い子供には最高スベックの道具を使わせたい。

©ゼロインダストリー



AXE
SG-418PC Col.BK
価格7875円

フレキシビリティに富んだポリアミドナイロンフレームが、頭部を包み込むような装着感を生むフレーム設計を採用。クイックに交換できるスベアのレンズを標準装備し、それでいてコストパフォーマンスにも訴求する実力派だ。

©アックス

マリンスポーツ アウトドアアクティビティ テニス サイクリング ランニング ドライブ

ゴルフ フィッシング バイク 登山 トレーニング ボルタリング スケートボーディング

カラーレンズを楽しむ提案

メガネフレームにカラーレンズを実際に入れて、
プリंक青山本店荒岡さんに提案してもらいました！
こんなカラーレンズが2011年の気分！



SERIMA Optique

鮮やかなピンク色が目をひく「セリマ」の「ANDY」には、あえてシックなブラウンカラーで落ち着いた。[ビビッドな色味と肌馴染みの良いブラウンレンズでアンバランスなイメージに仕上げてみました]「ANDY」価格 3 万2550円（フレームのみ）

この色も
OK!



Oliver Goldsmith

人気の「OG」の新作フレームにも、カラーレンズをトライ。「クリアのフレームを、日本人はあまり選はないのですが、ちょっとグリーンのレンズに換えてみると、よりヴィンテージ感が増す気がしますね？」「ELODRADO」価格 3 万1500円（フレームのみ）

この色も
OK!



BENJAMIN EYEWEAR

どちらかというと肉厚なロンドン系ヴィンテージフレームとは一線を画す、細いフレームが特徴の「ベンジャミン」。「そんなフレームに、眼が透けるくらいのブルー、という野暮ったさがおもしろいかなと」「WILLIAM」価格 3 万4650円（フレームのみ）

この色も
OK!

フレームにカラーレンズを入れて楽しむ！



CUTLER AND GROSS

ロンドンの薫りを強く放つ、人気の「カトラー アンド グロス」。「ペイルトーンのぼってりとしたフレームに、ブルー系パープルのレンズをあわせました。寒色系の色味は取り入れやすいカラーだと思います」「0969」価格 3 万7800円（フレームのみ）

この色も
OK!



BARTON PERREIRA

プロダクトとしての高い完成度と、控えめなラグジュアリーさを放つデザインで、他の追随を許さない「バートン ペレイラ」。「LAのおしゃれセレブが掛けていそうなイメージを意識して、グリーンを選んでみました」「JESTON」価格 3 万4650円（フレームのみ）

この色も
OK!

ライター小谷さんの
私物フレームにも



「気に入っている私物のフレームをお持ちいただき、カラーレンズに交換してみる、ということももちろん可能です。思いのほかイメージが変わりますよ。たとえばお使いのこの「ルノア」のフレームなら、ヴィンテージテイストを活かしたクールなイメージをより引き立てるために、薄いグリーンのレンズが合うのではないのでしょうか」（荒岡さん）



す。そのあたりの記憶もあって、クラシックなフレームに薄い色のレンズを入れてみるのもいいかな、って思いはじめたんです」カラーレンズって、見た目と掛けたとときの色の見え方が違うので、選ぶのが難しいというイメージがあります。それにフレームとの相性も、セクスが問われますよね。

「サンプルケースの下地は、大概白ですからね。そこで見た色と肌に乗ったときとは、当然差が出てきます。レンズを選ぶときは、鏡を外に出して、自然光の下で見ることをお勧めします。それでも晴れているときと曇りのときとはニュアンスが違ってくるので、できるだけ使用してみる、確認することが失敗を減らす秘訣です。あとフレームとの掛け合わせは、正直好みですね。僕は基本的に野暮ったいのが好きなので、いまだったら「ベンジャミン」のような細くてクラシックなタイプのフレームに、薄いブルーやグリーンを入れるのがブームです」

そうか、リテール側の提案としてカラーレンズを入れて、店のオリジナルティを出すことができるんですね。しかも意外と手軽に。

「そのとおりです。例えば新作のフレームって、いろんなお店でブログで紹介されると思うけれど、おそらくほとんどが透明なレンズのまま。そこにカラーレンズを入れてみるだけで、印象がだいぶ変わってきますよ」

みんな、フレームのカタチや素材の違いでマンネリ感を打破しようとしてきたけれど、まさか、こんなブレイクスルーがあったとは！ カラーレンズ、要注目かもしれない。

カラーレンズ 再来の予感!!

引き続きクラシックなスタイルが根強いなか、
デザイナーもリテールも、そして消費者も、
そろそろ新しい風を感じたいところ。そんなことを
『プリंक青山本店』の店主・荒岡俊行さんに相談したら
「カラーレンズはどうですか?」という思わぬ答えが!

Photo / 宮坂政邦 Miyasaka Masakuni (WPP) Text / 小谷知也 Cotani Tomonari

クリアレンズタイプと同時にカラーレンズを入れたモデルが続々登場中!!

PRISM

ファッションジャーナリストとして活躍したアンナ・ロープが2009年に立ち上げた、ロンドン発のアイウェア「プリズム」。同じフレームでもカラーレンズを入れると、よりそのファッション性が増す。「NEW YORK」(上) 価格 3 万2550円 (下) 価格 3 万5700円



L.G.R.

タイムレスなデザインが魅力のイタリアンブランド「L.G.R.」。クリアレンズの場合はノーブルさが、カラーレンズの場合はラグジュアリーさが際立ってくる。眼鏡とサングラスの中間といった存在感は、ほかにはない新しさだ。「KEREN」(上) 価格 2 万3100円 (下) 価格 2 万9400円

個性の演出を
気軽にできそう

カラーレンズ、確かに新鮮かも！10年くらい前には結構入れている人を見かけましたが、いつの間にかファッション的には「一線」を超えて、手を出しづらいアイテムになってしまいましたよね。また一巡して、ブームが来ているのでしょうか。

「いえ、まだ来ていません。来ないかも(笑)。僕が勝手に盛り上がっているだけです(笑)。とはいえ、『プリズム』や「L.G.R.」など、同じフレームでもクリアレンズとカラーレンズを入れた2パターンを発表しているブランドもありまして、市販のものを使わず、わざわざ自分たちで染色したレンズを提案してきた「マッサーダ」のようなブランドもあります。元々、ステイヴ・マックイーンが『華麗なる賭け』のなかで掛けていた、ブルーのレンズを入れたベルソールのベッ甲フレームがとても好きなんです。

GLCO

オリバー・ピーブルズで腕を磨いた『ギャレット・レイト』。そのDNAを感じさせる品の良いラインをもつフレームも、レンズを変えると印象がガラリと変わる。レンズを選ぶ際、フレームと同系色を選ぶのは、失敗をしない鉄則のひとつだ。「RIALTO」(上) 価格2万2050円 (下) 価格 1 万8375円

カラーレンズ使用の
お勧めモデル



茶色のフレームに緑のレンズがクラシカルなGLCO「HAMPTON」価格 3 万450円（カラーレンズモデル）



トマト色に同系色の赤系レンズを入れたBENJAMIN EYEWEAR「WILLIAM」価格 3 万4650円（カラーレンズモデル）